



三光幼稚園だより 6月号

<http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp>

ブログ: <http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp/blog>

Twitter: https://mobile.twitter.com/sanko_kg



令和7年5月30日
港区立三光幼稚園
園長 藤井 未知江

人との関わりの中で

園長 藤井 未知江

6月11日(水)に幼稚園教育振興対策事業の一つである、未就園児のための「三光まつり」を開催します。その準備のために、年長組は自分たちで考えたお店屋さんを友達と一緒に作り始めています。これまで楽しんできた遊びの経験から「魚釣りがいいな」「魚はクレーンで挟んでとれるようにしたい」など、思ったこと、考えたことなど様々なことを口々に友達に伝えながら遊び進めています。時には友達と意見が合わず、「僕は水色がいい、だってこっちの色の方が綺麗だよ」「でもさ、でもさ、水色だと本物の色じゃないもん」などと言い合い、双方引かず、さらにはそれを見ている周りの子どもたちが困惑し、教員を呼びに来ることもあります。

発達による学年ごとの差はありますが、このような光景は、幼稚園ではどの学年においても見られます。子ども同士のトラブルがあった時、教員はまず、双方の思いをじっくり聞きます。状況を聞き取り、一人ひとりに寄り添いその思いに共感しながら、解決を急かさず、子どもたちとともにどのようにしたらよいかを考え、時には子ども同士の話し合いに必要な言葉を知らせます。子どもたちは教員に自分の思いを十分に受け止めてもらいながら、次第に友達の思いにも気づき、受け止め、時には葛藤を経験しながら自分の気持ちを立て直し、トラブルの解決に向かっていくようになります。

このように状況によって大人が子どもたちの気持ちを言語化したり代弁したりすることは、目には見えない子どもたちの心の成長に大きく関わっていきます。こういった経験の積み重ねが、年長児の後半には大抵のトラブルでは自分たちで考えを出し合い、解決しようとする姿につながっていきます。

友達との関わり方を学ぶ経験を積み重ねていくことは、社会性や協同性の育ちに、また、将来において多様な人と関わる力を高めていくことにつながります。御家庭でも是非、お子さんの園でのお話をたくさん聞いてあげてください。

どうぞよろしくお願いいたします。



昭和43年度の運動会の様子。小学校と一緒に運動会で、小学生が見守る中、ダンスを踊っていました。

昭和45年の写真です。小学校と同じ園庭でこんな大きな登り棒がありました。